




様へ

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月	日	月	日
経過	当日術前		当日術後	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術の必要性を理解できる 治療に対する不安を表出できる 		<ul style="list-style-type: none"> 術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 身長、体重測定 		<ul style="list-style-type: none"> 採血 レントゲン撮影 	
食事	 絶飲食		 医師の許可が出るまで絶飲食	
処置・観察	<ul style="list-style-type: none"> リストバンドを装着します(退院日まで) 点滴の針を留置します 臍処置します 胃管(必要時)が入ります 		手術後、以下の挿入物・装着物があります	
	<ul style="list-style-type: none"> 時間になれば、看護師が手術室にご案内します 		<ul style="list-style-type: none"> 酸素チューブ → 取り外します 胃管(必要時) → 取り外します 心電図モニター → 取り外します 点滴の管 → 背中のチューブ(鎮痛剤) → 創部の管(ドレーン) → 尿道カテーテル → 	
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 		<ul style="list-style-type: none"> 以下の点滴を行います 持続点滴 抗菌薬 	
行動・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 以下の手術準備をします 手術着に着替え 弾性ストッキング装着 入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し 		<ul style="list-style-type: none"> 午前中 全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます 	
	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 翌朝までベッド上安静です 	
説明	<ul style="list-style-type: none"> 医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) 治療計画について 手術について 麻酔について 		<ul style="list-style-type: none"> 医師より説明 手術結果について 	
	<ul style="list-style-type: none"> 病棟・手術室看護師より説明 入院生活について(パスシートを使用) 手術について 		<ul style="list-style-type: none"> 看護師より説明 術後の注意点について 安静について 下肢運動について 痛み止めの使用方法について 	
	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師より 持参薬確認 使用薬剤について 			

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い、計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

月日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日					
経過	術後 2～3 日目	術後 4～5 日目	術後 6～9 日目 (退院日)					
目標	<ul style="list-style-type: none"> 術後合併症を起こさない (出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) 合併症予防のためリハビリ (歩行訓練、呼吸訓練) がおこなえる 食事が摂取できる 		<ul style="list-style-type: none"> 退院後の日常生活上の注意点が述べられる 					
検査	<ul style="list-style-type: none"> 3 日目・5 日目・必要時 採血 レントゲン撮影 							
食事	<ul style="list-style-type: none"> 胃管抜去後飲水開始 主治医が食事再開時期を判断 腹部の状況をみながら、流動食、粥食、常食に移行 		退院日は朝食のみ					
処置・観察	以下の挿入物があります		退院時にリストバンドを外します					
	<ul style="list-style-type: none"> 胃管 (必要時) → 不要となれば抜去します 点滴の管 → 点滴が不要となれば抜去します 背中のチューブ (鎮痛剤) → 不要となれば抜去します 創部の管 (ドレーン) → 排液の状況を見て抜去します 尿道カテーテル → 術後 2～3 日で抜去します 		<ul style="list-style-type: none"> 創部を観察、処置を行います → 					
		状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります						
点滴・内服	<ul style="list-style-type: none"> 以下の点滴を行います 持続点滴 (徐々に点滴量が減ります) 							
行動・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 状況に合わせて、看護師が全身清拭、洗髪、足浴します 		<ul style="list-style-type: none"> 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります) 					
	<ul style="list-style-type: none"> リハビリを継続します 尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます 		<ul style="list-style-type: none"> (退院日) 朝食後退院です 					
説明			<ul style="list-style-type: none"> 医師より説明 <ul style="list-style-type: none"> 退院後の治療計画、療養上の留意点について 看護師より説明 <ul style="list-style-type: none"> 退院後の療法生について (退院療養計画をお渡しします) 					

